

優秀賞

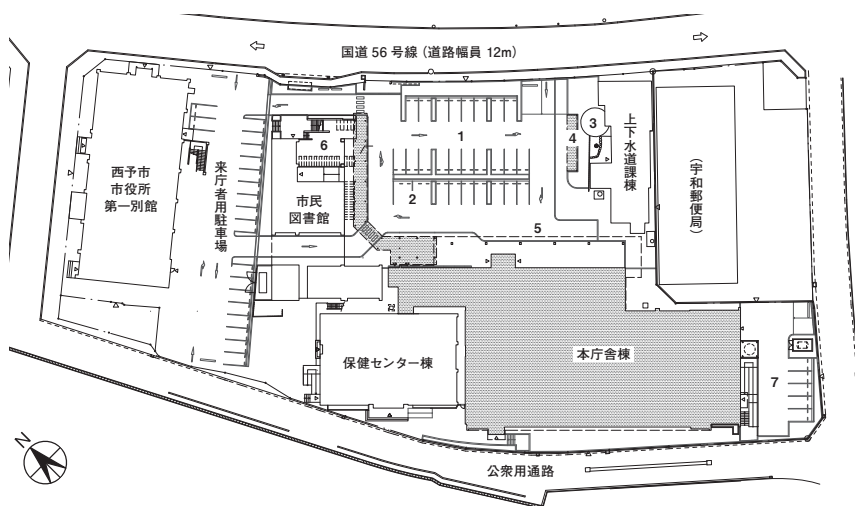
行政施設
(四国地区)

せいよ 西予市庁舎



1階待合いロビー

北東面外観



配置図

所在地	愛媛県西予市宇和町卯之町 3-434-1
敷地面積 (m ²)	8,432.80
建築面積 (m ²)	1,859.28
延床面積 (m ²)	7,257.82
構造/階数	SRC造、一部S造/地上6階
事業者	西予市
設計者	(株)東畑建築事務所
施工者	戸田・東部・平野特定建設工事JV
竣工年月	2011(平成23)年4月
総工事費	1,751百万円

- 1 来庁者用駐車場 2 車いす使用者用駐車場 3 貯水タンク
4 駐輪場 5 車寄せスペース 6 図書館駐車場
7 来庁者用駐車場(休日・夜間用)

旧宇和町の利用者にも、合併後の新たな行政区としても市民にわかりやすいものとなっている。当初からバイオマス空調を計画されたことは評価できる点だ。環境配慮技術とその可変性について最新の動向を参考にし、全面OAフロアや可変仕様のサイン、カウンターなどの具現化を図っている。また耐震性については、この地域の地盤条件から、当初の計画通りの耐震設計で十分と考えられる。

特徴の一つとして、市民が主体的に利用する市民ロビーを設けている点が挙げられる。これに付随して、市民が積極的に利用するための仕組みづくりが重要だと感じたが、これらを含めた今後のファシリティマネジメントに関しては、市役所職員の能力が高いことがヒアリングから読み取れた。

配管設備管理は、数十年の単位でみるとわずかなメンテナンスコストの差が大きくなるが、良好な対応を行っていることも評価できる。

木の庁舎として内装材を中心に西予市産の杉や桧をほぼ100%使用しているほか、木質ペレット空調など、地場産業に密着した取組を行っている。

『Changeせいよ!』～脱・お役所仕事～

開庁5年を迎え、市民の方からは「窓口がわかりやすく、木の温もりを感じられる庁舎でいいね!」との声を頂いています。本市の人口は現在約40,000人で、25年後には25,000人まで減少する見込みです。それとともに税収、職員数も減少し、今後限られた職員数で効率良く仕事を行う必要に迫られています。このことから昨年より産官学が連携し『オフィス改革(働き方改革)』に取り組んでいます。若手職員によるワークショップを開催し「自分たちがどんな空間で働けばワクワク仕事ができ、生産性が向上するか。市民と職員が活発なコミュニケーションを図るにはどのような空間が良いか」等々、『Changeせいよ!』をコンセプトに時代の変化に柔軟に対応し常に一歩先を行く庁舎を目指してこれからも改革に取り組みます。

(村上征士郎・西予市産業建設部建設課建築住宅係長)